

ズッキーニ

緑で細長い形からキュウリの仲間だと誤解されがちですが、実はカボチャの一種。果肉はナスに似た肉質で、ほのかな甘みと苦みが特徴です。β-カロテンの他にもビタミンC、カリウム、カルシウムなどを含む低カロリーの淡色野菜。β-カロテンは、油と一緒に調理することで体内への吸収量がアップします。

5月の農作業

平成15年発行：
JAハリマ「生き生き健康野菜づくり」より

雑草図鑑 コニシキソウ・ドクダミ

5月の農作業

作型

ヨーロッパ原産若どり用つるなしかぼちゃ。梅雨明けの7月末に草勢が弱り枯れることが多いので、排水を良くする。日当たりの良い場所を選ぶ。また、ビニールトンネルで雨よけをする。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え				△	△	—	—	—	■	■	■	■	ダイナー、オーラム、トスカ

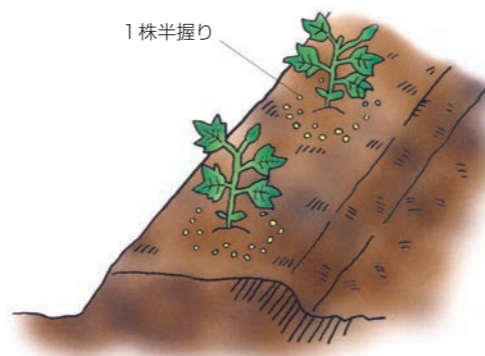
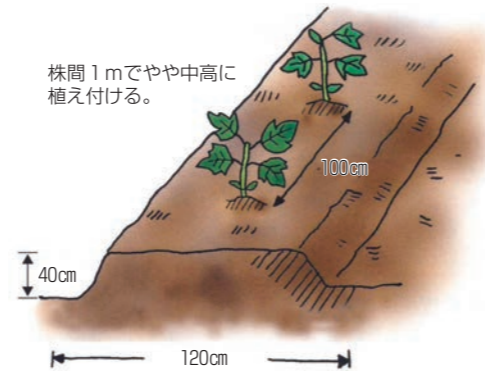
△：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	10kg
元肥 a当たり	
油粕	20kg
植え付け1ヶ月前に土とよく混合	

- ・畝幅120cm
- ・株間100cm (1条植)
- ・畝高 40cm

植え付け



追肥・敷きわら

- ・開花したら第1回の追肥を始める。(敷きわら前に野菜専用肥料4kg/a)
- ・第2回は(15日後)に株元に半握り程度施用する。
- ・生育中は肥料切れの無いよう注意する。
- ・敷きわらは開花したら行い、泥のはね返りを防ぐ。

暴風対策

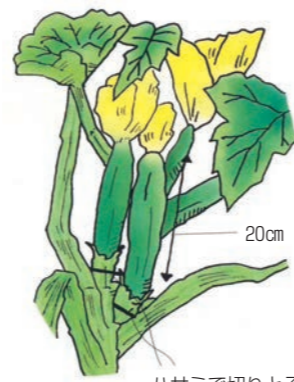
- ・倒伏しないよう支柱や防風網をする。

防除

病害虫名	耕種防除	農薬による防除
うどんこ病	窒素の多施用を避ける	アミスター20フロアブル(2,000倍) 前日まで4回以内 ダコニール1000(1,000倍) 前日まで3回以内
アブラムシ類	株元に川砂を敷く	アドマイヤー顆粒水和剤(10,000倍) 前日まで3回以内 アディオソ乳剤(2,000~3,000倍) 前日まで3回以内

収穫

- ・夏場は開花後4~5日で20cmになるので、収穫の目安となる。
- ・果実が急成長するので、取り遅れないようにする。



コニシキソウ

畑地、庭など、いたるところに分布する一年草で、日当たりの良い所に生育する北アメリカ原産の帰化植物。茎は根元で分枝して四方にはい、地面に張り付くようにして広がる。茎には白い短毛があり、茎を切ると白い乳汁が出る。葉は対生で表面の中央に暗紫色の波紋がある。生育期間は5月~11月頃まで。発生ピークは夏になるが、春から秋にかけても発生が続く。7月~10月にかけて葉腋に暗褐色の花をつけるが、小型であるためあまり目立たない。種子は光が当たる条件で発芽しやすく、発芽深度は土壌表面から0.5cmまでが多い。



地面をはって生育するコニシキソウ



コニシキソウ(芽生え期)



コニシキソウ(生育中期)

防除のポイント

種子を形成してしまう前に防除することが重要。発生後は移行性の茎葉処理剤ラウンドアップマックスロード(作物によって使用方法が異なるため要確認)を散布する。

ドクダミ

畑や庭、水路、人家の周辺、道ばたなどに生育するドクダミ科の多年草。白い地下茎が横に伸び、筋から茎を直立させてしばしば群生する。草全体に臭気がある。高さは15~30cmで、6月~8月に茎の上部に白い花をつける。花弁のように見える白い部分は花弁ではなく、中心部の黄色い部分が花の集合体。古くから皮膚病や胃腸病の薬草として利用されている。繁殖力が非常に強く、地下茎は地表から数十センチに達することもある。ちぎれたわずかな根からでも再生するため、防除が難しい雑草としても有名。



群生するドクダミ



ドクダミ(芽生え期)



ドクダミ(生育初期)

防除のポイント

根が地中深くに入り込むだけでなく、四方に伸びているため、手できれいに引き抜くことは難しい。発生後、移行性の茎葉処理剤ラウンドアップマックスロード(作物によって使用方法が異なるため要確認)を散布する。